

第十八回

九十九物語

朗読が誘う乙女文楽の世界

- 一、浪速の民話「葛の景狐」
- 二、今昔物語より「待ちぼうけ」
- 三、平家物語より「滝口入道と横笛」

大橋文江(おおはしふみえ)
朗読工房主宰。朗読教室の講師をする傍ら、音楽演奏家や他分野のスペシャリストとのコラボレーション「九十九物語」「言の葉ライブ」など、自身の舞台朗読を継続的に行いライブワークにしている。



出演：朗読：大橋文江、長友聖子
人形：吉田光華、吉田光寄
音楽：久保比呂誌



よしだ みつか
吉田光華

光華座主宰。3歳より舞踊を始め12歳で若柳流名取に。その後、乙女文楽吉田光子に師事し、吉田光華を襲名。長年培った日本舞踊の素地を生かし従来になかった演目を創作。



くぼ ひろし
久保比呂誌

作曲・CDプロデューサーと共に「津軽三味線とピアノ」を演奏する異色のスタイルでコンサート活動を展開中。

朗読工房
ホームページ



令和5年9月16日(土) 開演12時~/15時~

吹田市文化会館

メイシアター小ホール

吹田市泉町2丁目 29-1

☎06-6380-2221

(阪急千里線吹田駅前 西口出てすぐ)

チケット

3,000円/全席自由席
(6月1日(木)より発売)

お申込み

朗読工房事務局
090-5315-3924(松尾)



主催：朗読工房 後援：吹田市・吹田市教育委員会